

ラベファインパック

【この薬は？】

販売名	ラベファインパック Rabefine PACK
-----	----------------------------

この薬は以下の3つの薬（パリエット錠10mg、サワシリン錠250、フラジール内服錠250mg）を組み合わせたものです。

販売名	パリエット錠10mg Pariet Tablets 10mg	サワシリン錠250 Sawacillin Tablets 250	フラジール内服錠 250 mg Flagyl Oral Tablets 250mg
一般名	ラベプラゾール ナトリウム Rabeprazole Sodium	アモキシシリン 水和物 Amoxicillin Hydrate	メトロニダゾール Metronidazole
含有量（1錠中）	10mg	250mg（力価）	250mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・パリエット錠は、プロトンポンプ阻害剤と呼ばれるグループに属する薬で、胃の中で酸分泌を抑えます。
- ・サワシリン錠は、ペニシリン系抗生物質と呼ばれるグループに属する薬で、殺菌

的な抗菌作用を示します。

- ・フラジール内服錠は、抗原虫剤と呼ばれるグループに属する薬で、抗原虫作用および抗菌作用を示します。
- ・サワシリン錠とフラジール内服錠は、ヘリコバクター・ピロリ菌を殺菌する作用があります。パリエット錠は胃酸の分泌を抑えることで、サワシリン錠とフラジール内服錠の抗菌作用を高めると考えられています。
- ・次の病気の人に処方されます。

【適応症】

胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃 MALT リンパ腫・特発性血小板減少性紫斑病・早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃におけるヘリコバクター・ピロリ感染症、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎

【適応菌種】

アモキシシリン、メトロニダゾールに感性的ヘリコバクター・ピロリ

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にパリエット錠、サワシリン錠、フラジール内服錠に含まれる成分に対して過敏症のあった人
- ・リルピピリン塩酸塩を使用している人
- ・伝染性単核症にかかっている人
- ・腎臓に高度な障害がある人
- ・脳や脊髄に器質的な疾患（脳膿瘍を除く）のある人
- ・妊娠3ヵ月以内の人または妊娠している可能性のある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・妊娠3ヵ月を過ぎた人
- ・授乳中の人

【パリエット錠】

- ・過去に薬剤で過敏症のあった人
- ・肝臓に障害のある人

【サワシリン錠】

- ・過去にペニシリン系又はセフェム系抗生物質で過敏症のあった人
- ・本人または両親、兄弟に気管支喘息、発疹、蕁麻疹等のアレルギー症状を起こしやすい体質の人がいる人
- ・経口による摂取ができない人、経口以外の方法で栄養を摂取している人、全身状態の悪い人

【フラジール内服錠】

- ・血液疾患のある人
- ・脳膿瘍のある人
- ・コケイン症候群の人
- ・血液透析をしている人
- ・肝臓に障害のある人

○この薬には併用してはいけない薬[リルピピリン塩酸塩（エジュラント）]や、併用を注意すべき薬、飲食物があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎の場合、この薬の使用前に、ヘリコバクター・ピロリが陽性であること及び内視鏡検査によりヘリコバクター・ピロリ感染胃炎であることが確認されます。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

3つの薬を同時に飲んで下さい。

一回量	パリエット錠 10mg	1錠
	サワシリン錠 250	3錠
	フラジール内服錠 250 mg	1錠
飲む回数	1日2回	
飲む期間	7日間	

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回分を飛ばし、次に飲む時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・妊娠3ヵ月以内の人または妊娠している可能性がある人は、この薬を使用することはできません。
- ・妊娠3ヵ月を過ぎた人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。

- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

【パリエット錠】

- ・この薬の使用中に血液検査が行われることがあります。

【サワシリン錠】

- ・ショック、アナフィラキシー、アレルギー反応に伴う急性冠症候群や薬剤により誘発される胃腸炎症候群があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。
- ・顆粒球減少、血小板減少があらわれることがあるので、定期的に検査が行われることがあります。
- ・黄疸、AST、ALTの上昇等があらわれることがあるので、定期的に検査が行われることがあります。
- ・腎臓に障害があらわれることがあるので、定期的に検査が行われることがあります。

【フラジール内服錠】

- ・白血球減少や好中球減少があらわれることがあるので、定期的に血液検査が行われることがあります。
- ・肝臓に障害があらわれることがあるので、定期的に肝機能検査が行われることがあります。
- ・この薬を使用中にアルコールを飲むと腹痛、嘔吐（おうと）、潮紅などの症状があらわれることがあるので、この薬を飲んでいる間は飲酒を避けてください。
- ・中枢神経障害があらわれることがあるので、ふらつき、歩行障害（うまく歩けない）、意識障害（考えがまとまらない、判断力の低下）、構語障害（こうごしょうがい）（舌のもつれ、しゃべりにくい）、手足のしびれなどの症状があらわれた場合には、ただちに受診してください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

【パリエット錠】

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい
汎血球減少 はんけつきゅうげんしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきからの出血、息切れ、動悸、あおあざができる、出血しやすい、発熱、寒気、喉の痛み

重大な副作用	主な自覚症状
無顆粒球症 むかりゆうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	体がだるい、めまい、息切れ、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
劇症肝炎 げきしょうかんえん	急な意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
中毒性表皮壊死融解症（TEN） ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう（テン）	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん（ステイブンス・ジョンソンしょうこうぐん）	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
多形紅斑 たけいこうはん	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、発熱、関節の痛み、喉の痛み
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
間質性腎炎 かんしつせいじんえん	発熱、発疹、関節の痛み、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、むくみ、尿量が減る
低ナトリウム血症 ていナトリウムけっしょう	吐き気、頭痛、嘔吐、けいれん、意識の低下
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
視力障害 しりょくしょうがい	文字や形がみえにくい、視野の異常
錯乱状態 さくらんじょうたい	注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない

【サワシリン錠】

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白、手足が冷たくなる、意識の消失

重大な副作用	主な自覚症状
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
アレルギー反応に伴う急性冠症候群 アレルギーはんのうにともなうきゅうせいかんしょうこうぐん	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、胸を強く押さえつけられた感じ、あごの痛み、左腕の痛み、寒気、ふらつき、汗をかく、発熱、意識の低下、口唇周囲のはれ、かゆみ、じんま疹、発疹、喉のかゆみ、動悸
薬剤により誘発される胃腸炎症候群 やくざいによりゆうはつされるいちょうえんしょうこうぐん	吐き気、嘔吐、食欲不振、お腹が張る、腹痛、下痢、刺激がないと眠ってしまう、顔面蒼白、脱力感、めまい、ふらつき、立ちくらみ、意識の消失
中毒性表皮壊死融解症 (TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう(テン)	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (ステイブンス・ジョンソンしょうこうぐん)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
多形紅斑 たけいこうはん	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、発熱、関節の痛み、喉の痛み
急性汎発性発疹性膿疱症 きゅうせいはんぱつせいほっしんせいのうほうしょう	発熱、皮膚が広い範囲で赤くなる、ところどころに小さな膿をともなう発疹が出る
紅皮症 (剥脱性皮膚炎) こうひしょう (はくだつせいひふえん)	ほぼ全身の皮膚が発赤する、発熱をしばしば伴う、しばしばフケのようなものがはがれ落ちる、フケやかさぶたのようなものを付着し、それがはがれ落ちる
顆粒球減少 かりゅうきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
肝障害 かんしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
重篤な腎障害 じゅうとくなじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい、高血圧
重篤な大腸炎 (偽膜性大腸炎、出血性大腸炎) じゅうとくなだいちょうえん (ぎまくせいだいちょうえん、しゅつけつせいだいちょうえん)	お腹が張る、腹痛、激しい腹痛、下痢、血が混ざった下痢、血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、発熱、頭痛、吐き気、冷汗が出る、顔面蒼白、ふらつき、息切れ、手足が冷たくなる、便に血が混じる (鮮紅色～暗赤色)、水のような便が出る、嘔吐

重大な副作用	主な自覚症状
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
好酸球性肺炎 こうさんきゅうせいはいえん	発熱、咳、息切れ、息苦しい
無菌性髄膜炎 むきんせいずいまくえん	発熱、吐き気、頭痛、うなじがこわばり固くなって首を前に曲げにくい

【フラジール内服錠】

重大な副作用	主な自覚症状
末梢神経障害 まつしょうしんけいしょうがい	手足のしびれ、手足の痛み、手足の感覚がなくなる、手足の力が入らない、物がつかみづらい、歩行時につまずく
中枢神経障害 ちゅうすうしんけいしょうがい	頭の痛み、しゃべりにくい、手足のふるえ、集中力の低下、物事が思い出せない・覚えられない
無菌性髄膜炎 むきんせいずいまくえん	発熱、吐き気、頭痛、うなじがこわばり固くなって首を前に曲げにくい
中毒性表皮壊死融解症 (TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう (テン)	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (スティーブンス・ジョンソンしょうこうぐん)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
急性膵炎 きゅうせいすいえん	吐き気、嘔吐、激しい上腹部の痛み、背中の痛み、お腹にあざができる、お腹が張る
白血球減少 はつけっきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
好中球減少 こうちゅうきゅうげんしょう	発熱、寒気、喉の痛み
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
出血性大腸炎 しゅけつせいだいちょうえん	激しい腹痛、血が混ざった下痢、発熱、ふらつき、息切れ
QT 延長 キューティーえんちよう	めまい、動悸、気を失う
心室頻拍 (Torsade de pointes を含む) しんしつひんぱく (トルサード ド ポワント をふくむ)	めまい、動悸、胸の不快感、気を失う

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

	パリエット錠	サワシリン錠	フラジール内服錠
部位	自覚症状	自覚症状	自覚症状
全身	冷汗が出る、発熱、ふらつき、出血が止まりにくい、突然の高熱、寒気、出血しやすい、体がだるい、けいれん、脱力感、むくみ、体がかゆくなる、疲れやすい、力が入らない、急激に体重が増える	冷汗が出る、汗をかき、発熱、発熱をしばしば伴う、ふらつき、出血が止まりにくい、突然の高熱、寒気、むくみ、体がだるい、体がかゆくなる、疲れやすい、力が入らない、脱力感	発熱、ふらつき、突然の高熱、寒気、疲れやすい、体がだるい、力が入らない
頭部	めまい、意識の消失、頭痛、意識の低下、注意力が散漫になる、問いかげに間違った答えをする、行動にまとまりがない、急な意識の低下	めまい、意識の低下、立ちくらみ、意識の消失、しばしばフケのようなものがはがれ落ちる、頭痛、うなじがこわばり固くなって首を前に曲げにくい、刺激がないと眠ってしまう	めまい、気を失う、頭痛、頭の痛み、集中力の低下、うなじがこわばり固くなって首を前に曲げにくい、物事が思い出せない・覚えられない
顔面	顔面蒼白、鼻血	顔面蒼白、鼻血、あごの痛み	
眼	目の充血やただれ、白目が黄色くなる、文字や形がみえにくい、視野の異常	目の充血やただれ、白目が黄色くなる	目の充血やただれ、物がつかみづらい
耳	耳鳴り		
口や喉	咳、唇や口内のただれ、喉のかゆみ、歯ぐきからの出血、喉の痛み、吐き気、嘔吐、血を吐く	咳、唇や口内のただれ、口唇周囲のはれ、喉のかゆみ、歯ぐきからの出血、喉の痛み、吐き気、嘔吐	唇や口内のただれ、喉の痛み、吐き気、嘔吐しやべりにくい、
胸部	息切れ、息苦しい、動悸	息切れ、息苦しい、動悸、しめ付けられるような胸の痛み、胸を強く押さえつけられた感じ	息切れ、動悸、胸の不快感
腹部	腹痛、食欲不振、お腹が張る	腹痛、激しい腹痛、食欲不振、お腹が張る	激しい腹痛、食欲不振、激しい上腹部の痛み、お腹が張る
背中			背中での痛み

	パリエット錠	サワシリン錠	フラジール内服錠
手・足	手足が冷たくなる、関節の痛み、喉の痛み、手足のこわばり、手足のしびれ	手足が冷たくなる、関節の痛み、喉の痛み、左腕の痛み	手足のしびれ、手足の痛み、手足の感覚がなくなる、手足の力が入らない、歩行時につまづく、手足のふるえ
皮膚	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、全身のかゆみ、じんま疹、あおあざができる、皮膚が黄色くなる、発疹	皮膚が広い範囲で赤くなる、ところどころに小さな膿をともなう発疹が出る、ほぼ全身の皮膚が発赤する、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、全身のかゆみ、かゆみ、発疹、じんま疹、あおあざができる、皮膚が黄色くなる、フケやかさぶたのようなものを付着し、それがはがれ落ちる	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、お腹にあざができる
筋肉	筋肉の痛み		
尿	尿の色が濃くなる、尿が赤褐色になる、尿量が減る	尿量が減る、尿の色が濃くなる	
便	下痢、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）	下痢、血が混ざった下痢、ゆるい便が出る、血の混ざったゆるい便が出る、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）、水のような便が出る	血が混ざった下痢
その他		高血圧	

【この薬の形は？】

<p>PTP シート</p>			
<p>各 薬剤名</p>	<p>パリエット錠 10mg</p>	<p>サワシリン錠 250</p>	<p>フラジール内服錠 250 mg</p>
<p>形状</p>	<p>フィルムコーティング錠（腸溶錠）</p> 	<p>素錠</p> 	<p>糖衣錠</p> 
<p>直径</p>	<p>6.7 mm</p>	<p>10.0 mm</p>	<p>10.8 mm</p>
<p>厚さ</p>	<p>3.6 mm</p>	<p>4.7 mm</p>	<p>6.0 mm</p>
<p>重さ</p>	<p>132 mg</p>	<p>380 mg</p>	<p>600 mg</p>
<p>色</p>	<p>淡黄色</p>	<p>うすいだいだい色</p>	<p>白色</p>
<p>識別 コード</p>	<p>E パリエット 10</p>	<p>250 SAW</p>	<p>Ⓢ763</p>

【この薬に含まれているのは？】

販売名	パリエット錠 10mg	サワシリン錠 250	フラジール内服錠 250 mg
有効成分	ラベプラゾール ナトリウム	アモキシシリン 水和物	メトロニダゾール
添加剤	エチルセルロース、黄色三二酸化鉄、カルナウバロウ、カルメロースカルシウム、グリセリン脂肪酸エステル、酸化チタン、酸化マグネシウム、ステアリン酸マグネシウム、タルク、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロースフタル酸エステル、D-マンニトール	白糖、カルメロースカルシウム、ヒドロキシプロピルセルロース、サッカリンナトリウム水和物、ステアリン酸マグネシウム、軽質無水ケイ酸、香料、デキストリン、黄色5号アルミニウムレーキ	コムギデンプン、グリセリン、メチルセルロース、水アメ、タルク、ステアリン酸マグネシウム、白糖、デンプン、グリコール酸ナトリウム、アラビアゴム末、ゼラチン、沈降炭酸カルシウム、安息香酸ナトリウム、カルナウバロウ

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
製造販売会社：エーザイ株式会社

販売会社：EA ファーマ株式会社

(<https://www.eapharma.co.jp/>)

くすり相談室

電話：0120-917-719

受付時間：9時～17時